


# 全国港湾 Fax 通信

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾25FAX第101号
(宛先)	2025年6月15日
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) 全国港湾書記局 

(件名)

26港湾春闘情報 (終報)

(本文)

## I. 各単組の取り組み状況について(6月15日現在)

### 1. 全港湾

- (1) 2月27日までに要求書を提出し、スト権集約も2月27日までに行った。回答指定日3月9日を第1回回答指定日に基本とし、各地方の集中回答指定ゾーンを3月9～13日とした。
- (2) 要求は、物価上昇分2.8%、地域別最低賃金引き上げ率5.1%、24春闘での他産業との格差分2.42%、定期昇給分3.0%を含めて12.85%を目指し、要求額を昨年と同様一律4万円とした。昨年の妥結額とは乖離があるが、荷主への要求でもある。企業が労務コストを求めるためにも要求。月給制の確立、定年延長と高齢者雇用対策、労働時間短縮、労災企業補償の引き上げ、女性労働者の権利と労働環境整備、伝染病の休業補償を求める等10項目を要求した。
- (3) 6月2日現在、151分会中128分会回答が妥結し、妥結金額平均12,654円(4.18%)で昨年同時期の最終集計[2025年5月27日時点、11,956円(3.88%)=妥結率70.0%]に比べて金額・率ともに上昇している。

### 2. 日港労連

- (1) 港荷(船内・沿岸)は、2月12日(木)、第1回港荷労使交渉を行い、産別要求を踏襲する形で基準内賃金40,000円以上を要求。別途産別要求である現行各産別制度賃金15%以上引上げを要求。スト権確立2月末の集約とする。その他具体的要求として、所定外労働割増率の統一化と大幅な引き上げ、遡減なし65歳定年延長、更に退職金の引上げ改定等、多岐に亘って要求。4月23日第3回第3回港荷団交を行い、基準内14,000円の表明を行い、各個別労使交渉の追認協議を以て、4月30日第4回港荷団交において正式妥結した。
- (2) 全検労協交渉は、第1回目2月13日、5月28日、第8回交渉にて初任給6,500円の引上げ。定昇一律2,000円。平均回答額11,445円で妥結した。
- (3) 第1回関連労使交渉は、3月9日、要求書提出。具体的要求として、基準月額4万円以上、5.9協定適用実施、産別協議促進、関連専門事業基盤の強化。5月7日第2回関連交渉を行い、基準内12,000円で基本合意し妥結した。

### 3. 検数労連

- (1) 2月13日に第1回交渉を行い、要求書の提出を行った。スト権集約は2月20日で確立。暮らしを守る大幅賃上げ、将来にわたり安心して働ける職場環境を目指

した。賃上げ要求は、アンケートを参考に賃金格差是正分を加味して、要求は、本給一律 38,000 円 (15%) とした。

(2) 5月14日、第10回交渉にて妥結した。

日 検 初任給 6,000 円の引上げ。定昇一律 3,000 円。平均回答額 11,127 円。

全日検 初任給 6,500 円の引上げ。定昇一律 2,000 円。平均回答額 11,445 円。

#### 4. 検定労連

(1) 要求書提出は、各単組3月初旬に提出し、スト権集約は2月25日までに行った。賃上げは15%以上の要求とし、要求項目として、あるべき賃金、時間外算定基礎分母の143Hへの引き上げ、完全週休二日制確立、職場環境の改善。

(2) 3月2日に両協会並びに両会社に要求書を提出し、3月17日に第1回検定労連団交を開催した。

(3) 時間外算定基礎分母を4企業共に150時間から149時間に改定する。

(4) 海事検定は、3月31日に合意：組合員平均=14,000円

(5) (株)シンケンは、5月8日に交渉し、合意した。組合員平均=10,373円

(6) 新日本検定は、3月27日に合意：賃上げ結果として、役割給改定・現業組合員一人平均=8,000円+アルファ。

#### 5. 全倉運

(1) 6% (定昇2%、物価上昇・生活水準4%) +  $\alpha$  (賃金及び格差是正分) を統一要求基準とし、統一要求提出日は3月11日(水)にした。

(2) 回答指定日を3月25日(水)とし、3月27日に一次回答を受け拡大中央闘争委員会を開催した。

(3) 賃上げ回答状況。(6月15日現在)

単純平均	37組合	12,155円 (4.19%)	昨年比	-1,676円
------	------	-----------------	-----	---------

加重平均	4,329人	15,421円 (5.16%)	昨年比	-230円
------	--------	-----------------	-----	-------

#### 6. 大港労組

(1) アンケート集約をもとに大幅賃金引き上げを目指してたたかう。2月17日の執行委員会にて、大港労組の基幹交渉体である、船内統一交渉の要求金額を4万円とする事を確認。3月2日に第3回幹事会を開催し、要求書を決定。同日、要求書を提出し第1回団交と位置付け要求趣旨説明会を開催した。

(2) 第5回4月27日交渉、基準内12,000円+ $\alpha$ で妥結した。

#### 7. 全日通

(1) 賃金17,300円の増額、一時金年間(夏季・年末合わせて)5か月分要求。提出日は、2月13日に行った。上記以外に、日本通運の「宿泊を伴う国内の作業出張および宿泊を伴う自動車輸送業務に関する諸手当等」における食事料の増額、日本通運の社員(地域)退職金規程の一部改定に取り組む。物流業界は、深刻化するドライバーの不足や高齢化、2030年問題など様々な課題を抱えている。労働条件の

引上げが急務と分析している。

- (2) 3月18日に合意した。賃金12,000円一時金年間(夏季・年末合わせて)3.1か月。夏 1.55ヶ月 冬 1.55ヶ月。

Ⅱ. 他団体の賃上げ状況(6月15日現在)

1. 連合(6月1日現在)第6回集計4,862組合

[回答状況] 16,518円(5.02%)対前年比+119円(0.24ポイント減)

2. 国民春闘共闘(6月4日現在)

単純平均9,670円(3.49%)、加重平均10,211円(3.23%)

以 上